

発行者
久宝寺小学校区まちづくり協議会
会長 笠原 彰
久宝寺地区福祉委員会
委員長 佐野 公一
八尾市北久宝寺2丁目1番1号
電話 072-922-2233

久宝寺地区



許麻の里

沢辺に生ふる

かきつばた

君か手毎に

水やかかさん

いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺を!! ～お互いの思いやりとアイデアで みんなで乗り越えよう～

新春号

新春号の発行にあたって

令和5年を迎え、早一か月が過ぎました。今年も、「ウイズコロナ」新しい生活様式」の暮らしに向けて模索の続く一年になりそうです。昨年引き続き、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」と「久宝寺地区福祉委員会」は、みんなの思いやりとアイデアを寄せ合い、それぞれの取り組みを進めてまいります。

今号では、この面に、昨年末に実施されたそのような主な行事を振り返り紹介させていただきます。

一方、本年度は、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」第II期わがまち推進計画」の最終年度に当たります。残りわずかな期間を残すばかりとなり、「協議会」では、その締めくくりに相応しい取り組みを進めています。裏面では、改めて「校区まちづくり協議会」を紹介し、続く「第III期わがまち推進計画(2023年4月～2028年3月)」の策定状況についてお伝えします。

本年も、皆さまの一層のご支援ご協力をお願いします。

♡久宝寺をあげて「防災訓練」!

コロナ禍のため、取り止めていた久宝寺地区をあげての防災訓練を、11月27日(日)に三年ぶりに実施しました。今回の防災訓練は、8月21日に実施の「避難所開設訓練」を踏まえて、「避難行動」「避難所受け入れ」と「各種訓練」を体験することをねらいとして行い、約330名の皆さんの参加がありました。

当日は、久宝寺地区自治振興委員会が構成する七つのブロック毎に、それぞれ一時避難場所に集合し、防災倉庫の点検や可搬ポンプの訓練などを行い、第2避難所の久宝寺小学校へ移動しました。

久宝寺小学校では、まず始めに、避難所開設を想定して、ブロック・町会・個人単位で、避難受付。続いて、ブロック別に、体育館での居住スペースや簡易トイレなどの「避難所体験」を、また、運動場では、「消火訓練」「放水訓練」「簡易担架訓練」「車いす」「救出訓練」などを順次体験しました。

その後、(旧)久宝寺幼稚園跡地で、「炊き出し訓練」を兼ねた豚汁を試食して訓練を終わりました。



参加の皆さんは、久々に体験する訓練に、終始熱心に積極的に取り組まれ、防災への関心や意識の高さが伺えました。

そして、お互いに力を合わせた体験を通して、さらに地域での連携が強まり、「地域防災力」が、更に一段高まったことが感じられた訓練となりました。

♡どきどきヤッター! わくわくDoようび!

「わくわくDoようび」実行委員長 久宝寺小学校PTA会長 近松 真定

昨年11月12日(土)の午前中、久宝寺小学校にて「わくわくDoようび」を三年ぶりに開催しました。

今回のテーマは、「みんなで一緒に遊ぼう!」です。感染対策に配慮し、知恵を絞って9種目を準備しました。運動場では、「ヒットだ! ターゲット」「わなげ」と「ヨー釣り」など、また、体育館では興奮と笑いっぱいの「バランスボード」「ミニポッチャ」を、また、多目的室では「クラフト制作」、そして、休憩時間には全館放送で全員参加の「会長と遊ぼう(クイズ)」を行い、みんなの笑顔がはじけて校内が華めきました。

今回の開催と運営にあたっては、久宝寺地区福祉委員会関係団体や、久宝寺小学校の先生方、学級委員・地域安全指導委員など約120名の皆さまのご協力をいただきました。

結果、415名の子ども達の参加があり、盛況に終わることができました。

「クラフト」で作ったカエルを見せ合った時、「わなげ」で真ん中の的に入った時、「ヨーヨー」がいっぱい釣れた時など、子ども達の興奮に包まれた輝きを見ることができました。

久々の開催、お陰さまで本当に行えて良かったです!



♡「ミニスポーツ祭を開催しました」!

久宝寺地区育成会会長 伊原 克彦

コロナ禍のこの間、感染防止対策のために「好きやねん久宝寺まつり」や「市民スポーツ祭」などの行事が中止になり、交流の機会がめっきり少なくなっていました。

「育成会」では、学年を超えた子ども達の交流や、子ども達とおとなとの交流を図るため、校区まちづくり協議会と地区福祉委員会のご支援のもと、「ミニスポーツ祭」を企画し、昨年12月18日(日)午後、久宝寺小学校運動場で開催しました。



校区在住の幼児や小学生とご家族を対象に、子どもとおとなを合わせて約300名の参加がありました。

当日は、風の吹く寒さの厳しい一日でしたが、「玉入れ」「借人競争」「大なわとび」「50m×6人リレー」「50m×6人リレー」や「OXゲーム」などの競技で、寒さを吹き飛ばす観

声運動場いっぱい湧き上がりました。初めての試みの「ミニスポーツ祭」でしたが、おとなの皆さんも一緒に参加され、子ども達も一生懸命に取り組んでくれて、とても嬉しかったです。

♡みんなと一緒に「昔の遊び」!

「おじゃみ」「ゴム飛び」「おはじき」「まりつき」「ハンカチ落とし」「こま回し」「けん玉」「ケンパ」「あやとり」「かるた」。

今ではとても懐かしい「昔の遊び」を一緒に楽しみました。

昨年12月15日(木)、久宝寺小学校の体育館に、久宝寺小学校の子ども達と地域のおとな達が、「昔の遊び」に、夢中になって遊んでいる姿がありました。

一年生のみんなと地域の皆さんとの交流授業として開催されたもので、地区福祉委員会関係団体から、約30名の有志がお手伝いをしました。

3限目と4限目を交流授業として参加した80名あまりの一年生のみんなは、班に分かれ順番に「昔の遊び」をおとな達から教えてもらいました。



ゲーム機に親しんでいるみんなには珍しかったせいか、全員が目を見張って熱中していました。

そして、後日には、「やったことのない遊びを教えてください、ありがとう」「みんなで遊べて、楽しかった」などの感想文を綴って寄せてくれました。

♡清々しく新年を迎えるために!

12月12日に、「地域一斉清掃」を実施しました。

当日は、日差しが漏れる曇天でしたが、各地域の皆さんがそろって、恒例の清掃活動を行いました。

日頃は手の届きにくい側溝の汚泥やごみの処理、落ち葉の清掃や除草など、子どもからお年寄りまで、ご家族やご近所の皆さまが力を合わせられる姿がありました。

地域の繋がりが、みんなを美しくとの「地域愛」を感じるひと時でした。



♡夜空に「拍子木」の響き!

久宝寺地区自治振興委員会が中心になり、年末の12月29日に、自治振興委員会の七つの町会ブロックで、各町会内の「歳末夜警」を行いました。

野外での活動とはいえ、感染対策に留意し、一日のみの実施となりましたが、久宝寺の各地域で、「火の用心の声」と、「拍子木の音」が鳴り渡り、穏やかな新年を願いました。

久宝寺がこんなまちになったらいいな！

【第三期わがまち推進計画】

久宝寺小学校区まちづくり協議会って！

現在、久宝寺地区では、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」と「久宝寺地区福祉委員会」が組織され、一体となって地域活動を展開しています。

「久宝寺地区福祉委員会」は、自治振興委員会をはじめ、地区内の関係団体で構成され、「好きやねん久宝寺まつり」「市民スポーツ祭」などの行事やイベントを通じて、「地域住民の福祉の増進」を目的として六つの部会を設けて活動を進めています。

そして、これらの活動は、住民皆さまからの賛助会費を中心に運営されています。

一方、「久宝寺小学校区まちづくり協議会」は、平成22年に設立準備会が立ち上げられ、平成25年に「まちづくり協議会」へ移行し事業をスタートしました。

以降、「校区まちづくり交付金」として八尾市から助成金を受け、自らの想いのもと、地域主体のまちづくりに取り組んできました。

I期・II期を経て、防災備品の充実や防災訓練の実施などによる「安全・安心のまちづくり」、長瀬川桜まつりの支援やほっとステーション開催などの「世代間交流の場づくり」や、寺内町・歴史資源を活用したイベントの開催など「校区活性化」に向けた事業を展開してきました。

今後も、「久宝寺地区福祉委員会」と「久宝寺小学校区まちづくり協議会」は、それぞれの設立の主旨と、今日までの成果を基盤に、「車の両輪」のごとく、心豊かに住み続けたいまち久宝寺をめざして取り組んでまいります。

久宝寺がこんなまちになったらいいな！

【第三期わがまち推進計画】の策定にあたっては、何よりも住民の皆さまの声を広く集めることに重点をおき、次の二つの取り組みを進めました。

現在、これらの取り組みの中でお寄せいただいた声を集め、事業目標やそれを実現するための取り組み事業のまとめの最終段階にあり、その経緯を報告させていただきます。

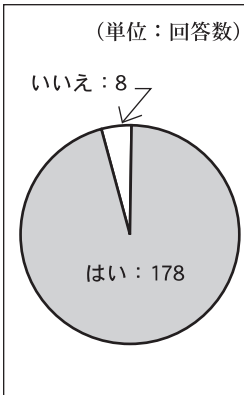
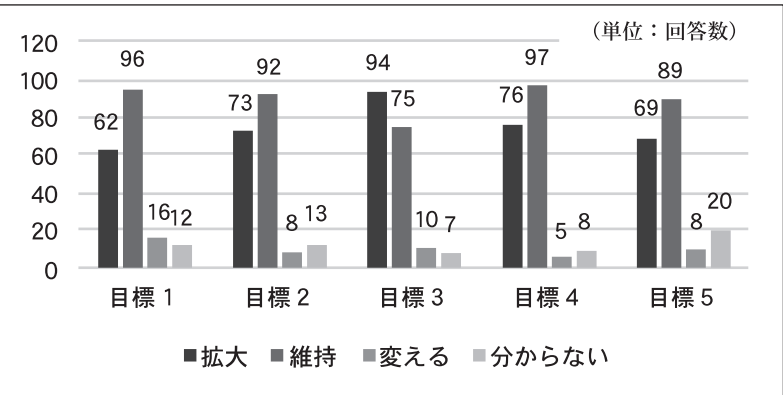
この間、多くの皆さまのご協力をいただき、ありがとうございました。

住民アンケートを実施しました！

【第三期わがまち推進計画】の策定に先立ち、「住民アンケート調査」を実施しました。

今回のアンケート調査は、より手軽に回答いただけるように、新たな取り組みとして「QRコード」によるSNSを活用した回答と「用紙による回答」を併用し、昨年7月22日から8月31日に実施しました。

アンケートの各設問は、現在、取り組みを進めている【第二期わがまち推進計画】について、次の五つの目標と事業に対して評価をいただきました。



【設問】各目標への取り組み姿勢は、今後どの方向が良いですか？

【設問】第三期でも五つの目標を維持したほうが良いですか？

【目標1】町会加入を促進し、地域の多彩な資源を活用して、住民相互が助け合い支え合うまちづくり

【目標2】世代間交流などを通じ、子どもから高齢者までみんなの笑顔があふれるまちづくり

【目標3】大震災の発生を想定した防災訓練や日常の安否確認活動と防犯活動で、安全安心のまちづくり

【目標4】地域の環境を守り、「美しいまち 久宝寺」をめざすまちづくり

【目標5】歴史的資源を活かし「歴史あるまちなみとふれあいのまち 久宝寺」をめざすまちづくり

五つの目標の方向性については、「このまま維持したほうが良い」との回答が、約96%とほとんどの方向で占めました。

【目標1】町会加入を促進し、地域の多彩な資源を活用して、住民相互が助け合い支え合うまちづくり... 【目標2】世代間交流などを通じ、子どもから高齢者までみんなの笑顔があふれるまちづくり... 【目標3】大震災の発生を想定した防災訓練や日常の安否確認活動と防犯活動で、安全安心のまちづくり... 【目標4】地域の環境を守り、「美しいまち 久宝寺」をめざすまちづくり... 【目標5】歴史的資源を活かし「歴史あるまちなみとふれあいのまち 久宝寺」をめざすまちづくり... アンケート期間中、186件(回答率：約23%)の回答をいただきました。次に、主な回答の集計を抜粋して紹介します。

【設問(自由記述)】今後、「まちづくり協議会」の活動で取り組んでほしいことや、各取り組みへのお考えは？

*寄せられたご意見・ご要望の中から、主な声を抜粋、要約して紹介します。

・核家族が進み、共働きが当たり前の社会で、子どもを共に育てる、声をかけられる地域になつてほしい。「世代間交流」賛成です。

・社会的孤立や無縁社会といわれる時代背景の中で、「つながり」の意味や価値を問い直すような働きかけが、継続的にできればと思います。

・子ども会への加入促進への対応が必要。子どもがもつと外で自由に遊べるまちづくりを。子ども達が楽しめるイベントをしてほしい。

・高齢者にも孤独があり、子ども達に声かけがあるように高齢者にも声かけを。少子化対策の一役として、若いお母さん達をサポートする活動をしてほしい。

・未来を担う子ども達の意見も吸い上げて、新たなツールで世代間交流を図れるようなイベントを期待します。

・地域のひととの交流をもつと増やして、みんなと仲良くしたい。

・お世話する側、される側という考え方を改め、皆が地域に関わり、人と人がゆるやかにつながれるような仕組みをつくるのが大切だと思います。

・まちづくり協議会の活動や内容について、詳しくくみんが関心をもてるようにPRして欲しい。SNSの活用による地域活動への参加の仕組みづくりが必要と考える。

など、他計68件のご意見をいただきました。

何でも言わん会を開催しました！

【アンケート調査】と合わせて、皆さんから直接声をお聴きするため、久宝寺独自の地域懇談会「何でも言わん会」を開催しました。

今回は、従来とは趣向を変えて、「わがまち推進計画」に沿って次の三つのテーマを設け、昨年11月20日と23日に三回開催し、ご希望の場自由に参加いただきました。

①防犯・防災「安全・安心のまちづくり」

②子どもから高齢者「笑顔があふれるまちづくり」

③美しいまち・ご近所をつなぐまちづくり

延べ44名の参加をいただき、熱心で前向きな話し合いがあり、約86件の貴重なご意見やご提案をいただきました。



【住民アンケート調査】の結果と合わせて、いただいた声を計画に盛り込んでまいります。

主なご意見を抜粋、要約して紹介します。

①防犯・防災「安全・安心のまちづくり」

・見守りに参加しているが、自動車や自転車の運転マナーが悪い。啓発看板や啓発活動が必要。

・地域パトロールで、光る誘導棒が抑止力になつてほしい。見える「活動」が大切と思う。

・防犯灯が設置されていない地区もある。最近の子どもは遅くまで活動しているので心配だ。

・防災は、各家庭での備えが基本だと思う。災害時、賃貸マンション住民との連携が心配。

・町会で「餅つき大会」を開催する。かまどベンチを活用するなど防災にもつながると考えている。有事に備えて、リーダー的な人を育て組織する必要がある。参加できる仕組みづくりを。 など

②子どもから高齢者「笑顔があふれるまちづくり」

・家庭環境の変化からか、子ども会の加入率が低下。子ども会の良いところをもつと伝えたい。

・登校時の見守りを行っているが、表情や態度で子ども達の様子がわかってくる。もつと子どもが安心して遊べる場所が作れたら。誰かのためというより、自分自身が楽しさを見つけてやるのが続く秘訣でないか。

・活動を通じて友達もでき、元気をもらっている。中間世代にも焦点をあてた仕組みづくりも必要。子どもをお世話することで、高齢者の幸せにもつながっている。高齢者を上手に使ってほしい。 など

③美しいまち・ご近所をつなぐまちづくり

・新しく住民になられた方には、仲間意識をもつてもらえるような声かけ、働きかけが大切に考える。道路にはタバコのポイ捨て、住宅街は犬のフンやおしっこ。より活発な啓発活動や注意喚起が必要。啓発メッセージカードを渡してはどうか。

・新しく家が建った時点で町会加入勧誘をしている。楽しく楽しい活動をするのが一番だと感じる。それが町会の活性化につながるのではないか。

・行政に頼らず、自分たちでできることから。 など

まちづくり協議会臨時総会を開催します！

「まちづくり協議会」では、先のテーマ①②③毎に「専門部会」を設けて、これらの声をもとに、二回のワークショップを開催するなど討議を重ね、「第三期わがまち推進計画」としてまとめました。

つきましては、「第三期わがまち推進計画」について、皆さまのご理解とご審議をいただきたく、次の通り「臨時総会」を開催します。

日時：2月17日(金)午後7時から7時30分
会場：久宝寺コミュニティセンター 集会所